

高知南高等学校・高知南中学校、高知西高等学校（併設中学校）の統合について （平成26年1月27日教育委員協議会資料を一部修正）

基礎データ

高知西高校	
<設置学科> 普通科、英語科	
<生徒数 (H25.5.1)>	
・普通科	1年242名 2年237名 3年240名 普通科計 719名
・英語科	1年 42名 2年 38名 3年 36名 英語科計 116名
学校計 835名	

高知南高校	
<設置学科> 普通科、国際科	
<生徒数 (H25.5.1)>	
・普通科	1年191名 2年175名 3年160名 普通科計 526名
・国際科	1年 30名 2年 36名 3年 31名 国際科計 97名
学校計 623名	

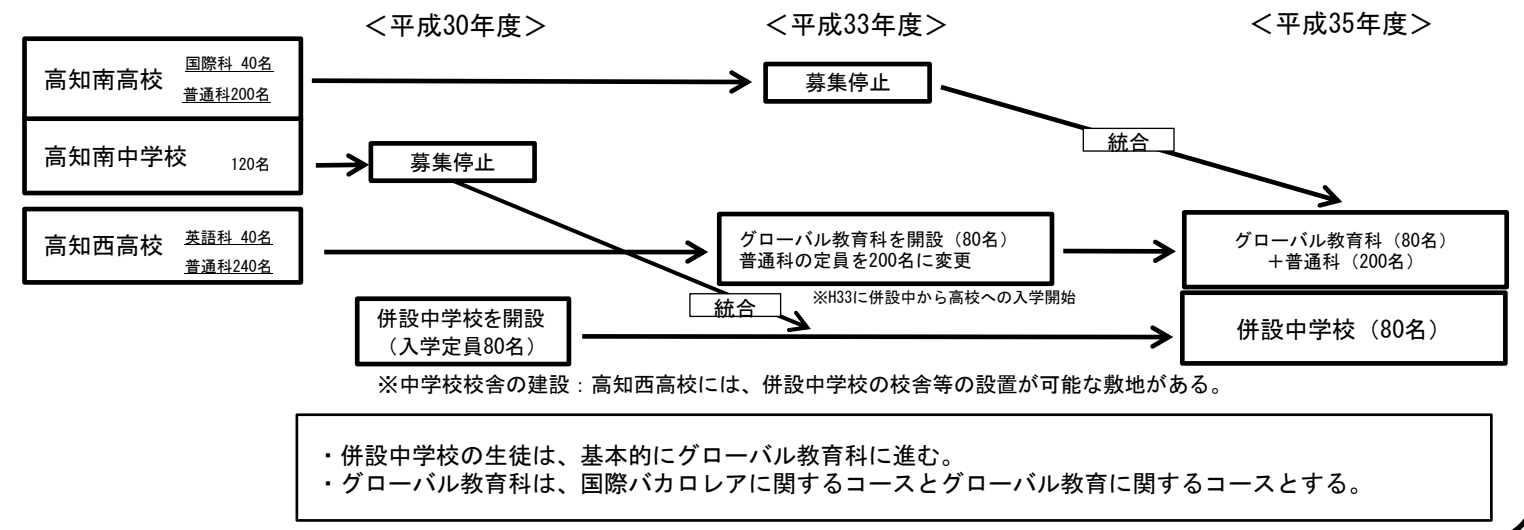
高知南中学校	
1年	120名
2年	121名
3年	120名
学校計 361名	

1 統合の考え方

- 生徒数の減少に対応するための適正な学校規模の維持、グローバル人材の育成に向けた教育環境の充実、南海トラフ地震への対応のために高知南高校と高知西高校を統合する。高知西高校には英語科に替えてグローバル教育科（仮称）を設置し、高知西高校の英語科、高知南高校の国際科の成果を更に発展させた新たなグローバル教育を実施する。
- 統合に当たっては、中高6年間の系統的なグローバル教育を教育活動の柱に置いた教育を行うために、統合後の高知西高校に併設中学校を設置し、高知南中学校を統合する。
- グローバル人材に必要とされる素養の育成に向けた取組を学校全体で行うことで、生徒の学力はもとより、思考力、判断力、表現力等を伸ばし、併せて教員の指導力の向上を図ることで、進学拠点校としても更なる充実を図る。

2 統合の進め方(案)

○平成35年3月を目途に統合する。それに先立って、平成30年度に高知南中学校を募集停止とし、高知西高校に併設中学校を開校し、平成33年度には高知西高校にグローバル教育科（仮称）を設置し、高知南高校を募集停止とする。



3 グローバル人材育成に向けたグローバル教育科（仮称）の設置

(1) 社会のグローバル化が進む中で、世界に通用する人材の育成を目指すための高知県のグローバル教育

現状	社会環境の変化	高知県のグローバル教育が目指すもの	国の動向
<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで本県では、高知西高校の英語科、高知南高校の国際科が中心となって国際理解教育を進めてきた。 ○ これまで取り組んできた国際理解教育は、異文化理解を柱に据えた国際交流と語学学習が中心となってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ グローバル化が進む中で、幅広い教養や課題解決力等を身に付けた人材の育成が求められている。 ◇ 過疎化が進み、多くの課題がある本県であっても、子どもたちがグローバル社会の中で活躍していける環境を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 郷土を愛し、その発展に貢献できる人材の育成 グローバル人材に必要とされる素養を育てることで、地域や社会にも広く目を向け、課題を発見し自ら解決策を探り、協働してその解決に取り組むことができる地域を支えるリーダーとしての人材も育成する。 ◇ 高い志をもち高知から世界へチャレンジできる人材の育成 高い志をもって世界に目を向け、社会をリードするグローバルリーダーとなる人材の育成に向け、本県の生徒が夢と希望をもって学ぶことができる教育環境を整える。 	<p><グローバルリーダーの育成> 急速にグローバル化が進む中で、語学力とともに、幅広い教養、問題解決力等の国際的教養を身に付け、将来的に政治、経済、法律、学術等の分野において国際的に活躍できるグローバルリーダーを、高校段階から育成する。</p> <p>スーパーグローバルハイスクール事業の実施や国際バカロレア認定校の増加等の取組を推進。</p>

(2) 中高6年間を通じた真のグローバル人材の育成

両校の現状

- ・英語科（高知西）、国際科（高知南）での英語運用能力の向上を図るとともに、国際交流活動を通じて国際理解教育を推進している。
- ・平成24年度の新規卒業者の国公立大学への進学者数は高知西84名、高知南21名、また、平成24年度は高知西で47名、高知南で16名が海外へ留学（長期、短期を含む）している。

グローバル人材育成に向けた新たな取組

- ◇ **教育課程の開発等**
 グローバル教育の推進を図るために、国の支援事業の活用も視野に、グローバル人材を育成するための教育課程の開発や、大学及び海外の教育機関との連携プログラムの研究・実践とともに教員の指導力の養成を行う。
- ◇ **中高一貫教育の実施（平成30年度から中学校の募集開始）**
 グローバル教育を進めるに当たっては、これまでの高知西高校と高知南中学校・高校の取組の成果も活かし、高知西高校に中学校を設置して、6年間を通じた体系的、系統的な取組を行うことで基礎学力の定着と、自ら考え、自ら課題を発見し解決できる力などを養い、その土台となる英語の運用能力を高める取組を行う。
- ◇ **国際バカロレアの導入と取組内容**
 将来的に国際バカロレアの認定を受け、世界的な基準に基づく教育内容も導入することで、より高いレベルでのグローバル教育も実施できる環境を整える。

国際バカロレアを取り入れた取組内容

- **高知西中学校（仮称）（入学定員は80名を想定）**
 将来、グローバル社会で活躍できる人材としての基礎を身に付けるため、基礎学力の定着、自ら考え課題を発見し解決できる力、その土台となる英語運用能力を高められる基礎を育成する。
 そのために体験活動やコミュニケーション能力を育成する取組、TOEFLで高得点の取得を目指す取組などを行う。
- **高知西高校（入学定員は280名を想定）**
 グローバル教育科は、中高一貫の取組を活かしてグローバル人材の育成に取り組む。定員80名のうち60名のグローバルコースで英語運用能力の向上を図るとともに、本県のグローバル教育をリードする20名の国際バカロレアコースで国際バカロレア（IB）のプログラムを導入する。
 また、定員200名の普通科は、グローバル教育の視点から探究活動等を充実し、更なる大学進学の実現に向けた取組を実施する。

<学校の目標>

- ・グローバル人材としての素養を育て、地域社会にも貢献できる人材を育てる。
- ・高い志をもって世界に目を向け、グローバルリーダーとなる人材を育てる。
 （IBのディプロマプログラム資格を活用した海外大学への進学（10名程度）、生徒の進路希望に対応した国公立大学等への進学（100名以上）など）

（※）文部科学省は国際バカロレア認定校を今後5年間で全国で200校に増やす計画を発表。また、スーパーグローバルハイスクール指定校を平成26年度に56校指定。
 「国際バカロレア」：国際バカロレア機構が学校、政府、国際機関などと協力し、国際理解の精神と厳格な評価の精神に則ったプログラムの開発に取り組み、世界各国の卒業生に国際的に通用する大学入学資格を付与することをねらいとした制度。思考力、判断力、表現力、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力等の重要能力、スキルの習得を目指すプログラムを中心にしている。
 「スーパーグローバルハイスクール」：国際化を進める国内外の大学や企業、国際機関等と連携を図り、外国語（特に英語）を使う機会の飛躍的増加、先進的な人文科学、社会科学分野の教育の重点化に取り組む高校等を指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践や体制整備を行う。